

# 中山の園グループ だより

No.132

第132号

2023.12.20

発行：中山の園グループ  
岩手県二戸郡一戸町中山字軽井沢139-1  
TEL：0195-35-2121  
発行責任者：中山の園所長 山岸 公美



## 中山の園グループ写真館

### 内容

- ・表紙/タイトル/写真館
- ・園まつり開催しました/一戸高校ふれあい体験学習
- ・各施設から
- ・栄養士から/中山の園職員研修/事業のご紹介/編集後記



ホーム  
ページ  
QRコード



# 中山の園まつりが開催されました

去る、令和5年9月16日(土)に、第41回「中山の園まつり」が開催されました。

4年ぶりの開催ということで、「あれはどこに置いてある?」「これってまだ使えるの?」と右往左往、過去の記憶を呼び覚ましなが、事前準備を行いました。

当日は降水確率40%の雨予報で、外での開催が危ぶまれましたが、利用者の皆様の「外でお祭りがやりたい!」という願いが雨雲を押ししのけ、晴天のうちに開催することができました。

出店で好きな食べ物を選んだり、他事業所の方が心を込めて作った作品を購入したり、それぞれに楽しい時間を過ごしました。

お祭りを盛り上げてくださった「戸高校華一」「エレクトーン山本先生」「右手民謡保存会」「TEAM幸呼来」さんのステージは拍手喝采!大いに盛り上がりました。参加して下さった方から、「呼んでくださってありがとうございます。また来年!」という嬉しいお言葉をいただき、目頭が熱くなる場面もありました。

ご家族の皆様や、地域の方々も多数参加して下さり、大盛況でした。

フィナーレは職員有志による「ジャンポリミッキー」のステージ。会場の皆様やボランティアの学生様も一緒に踊って、一体感の中お祭りの幕を閉じました。

笑いあり、感動ありの有意義な時間を過ごすことができました。

(い) 業務係長

小笠原 祐子



## 二戸高校ふれあい体験学習

一戸町社会福祉協議会様からのご依頼を受け、7月11日、一戸高校2年生6名の皆様をお迎えし、「ふれあい体験学習」を実施しました。この事業は、命の大切さと共に生きる力を育むこと、就労意欲の喚起と福祉現場での仕事を体験することを目的としています。

山岸所長から中山の園の歴史と福祉の動向、福祉サービスについての講義を受けた後、施設見学に臨みました。中山の園グループでサービスを提供している地域活動支援センター、グループホーム、障害者支援施設等の障害福祉サービス事業所を見学しました。また、診療棟の看護師や厨房の栄養士などいろいろな職種の方々からも説明を受けました。

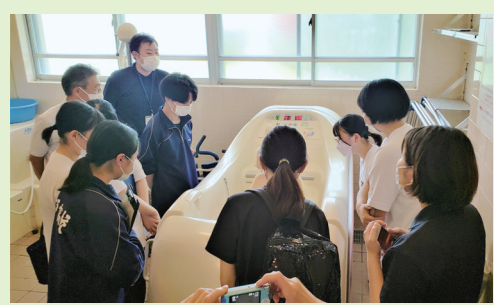
生徒の皆様からは、「障害の施設は初めてだったが、いろいろなことを学べて良かった」「笑顔で元気にあいさつしてもらってよかった」「楽しそっでいいなと思った」「やまゆりでお風呂のリフトに乗る体験をしたのが印象的だった」などという意見が出されました。

後日のアンケートには、利用者さんが楽しいと思って生活できるように、笑顔で優しく接することが大事と知り、励みになったということを多くの生徒様が書いていました。

今回のふれあい体験学習で得たことをこれからの学びや将来に活かし、つなげていってほしいと願っています。

(い) 生活支援員

畠山 早百合



かたくり

お楽しみシヨップ

～施設内で本格シヨッピング～

かたくりでは毎年夏と冬に、近くの商店と協力して、かたくりでお店を開く「お楽しみシヨップ」を開催しております。今年も夏の「お楽しみシヨップ」を実施しました。



今回はおやつやジュースが対象の商品だったため、あらかじめ利用者の皆様に食べたいものの希望を聞き取り、それを商店の方に伝え、商品を用意していただきました。開催される日にちが近づいてくると、「〇〇はちゃんとおるかな?」「やつぱりあれも欲しかったんだけど」と話すなど、利用者の皆様はとても待ちにしているようでした。

そして、待ちわびた当日になると、並べられた商品を見て、目を輝かせていました。好きなものをひたすら購入する方もいれば、バランスよくお菓子やジュースを選んで購入する方など、それぞれの買い物に個性が表れていました。購入したおやつを食べべて幸せそうな表情を浮かべて、とても満足した様子でした。



コロナウイルスの影響もあり、買い物に出かける際にもいろいろと気遣いが必要な状況ですが、利用者の皆様の選択肢を広げ、気軽に買い物ができる機会を設けられるよう、今後も努めていきたいと思えます。

生活支援員 菊地 祐哉

やまゆり

ボランティア育成講座

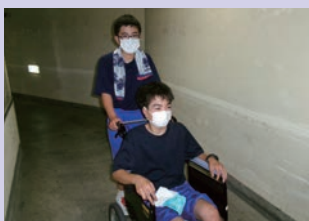
～数年ぶりの施設内交流～

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、職員が奥山山中学校に赴きましたが、今年7月6日、施設内でボランティア育成講座を実施することができました。



当日は、一学年18名の皆様が参加されました。まずは、長い地下道を通り、中山の園グループにある施設の説明や質疑応答を行いながら、体験の実施場所であるやまゆり地下に到着しました。生徒の皆様には一人一組に分かれてもらい、白杖体験と車椅子体験を実施しました。白杖体験では、白杖を用いて目隠しでの歩行や介助者としての付き添い、誘導を体験し、普段とは「歩く」感覚が異なることに驚いている様子でした。車椅子体験では、実際に車椅子に乗っての移動などを行いました。生徒の皆様は普段車椅子に触れる機会がなく、笑顔で楽しみながら様々な車椅子を体験しました。その後、やまゆり食堂で、利用者の皆様との交流体験として創作活動を一緒に実施しました。活動後は、生徒の皆様からのプレゼントとして「ふるさと」の合唱が贈られました。

今回の講座を通して、生徒の皆様からは「白杖で目隠しをしたのが少し怖かった」「今回学んだことを、普段の生活や将来に活かしていきたい」などの声が聞かれました。また、利用者の皆様からも「少し緊張したけど楽しかった」「たくさん話した」などの感想が笑顔で聞かれ、充実した交流となったようでした。



生活支援員 原子内 恵

一戸・二戸エリア担当 ワークなかやま

地粉そつめん(生麺)販売

～購入していただきましてありがとうございます～

今年の夏に、ワークなかやまオリジナルの地粉そつめんの販売を行いました。株式会社粉夢様との共同開発で、昨年より打合せを重ねて試行錯誤し、皆様に自信を持って提供できる美味しいそつめんが出来上がりました。また、商品に貼るラベルの制作にも力を入れ、そつめんの涼しさを演出するために、職員が八幡平市の不動の滝に写真撮影に行き、他にはないオリジナルのラベルが完成しました。

そして販売当日。生麺は鮮度が命。美味しい状態のまま皆様に持ち帰っていただくために、準備は時間との勝負です。温度管理を徹底しながら、出来立てのそつめんを利用者のみなさんと一緒にラベルを貼り、梱包、振り分け、配達を一気に進めていきました。途中で「ラベルが足りない!」「数が合わない!」「時間がない!」とハッパニングもありましたが、新しい試みをみんなで成功させたいという気持ちで頑張りました。

販売は数回行いましたが、何度も購入していただいた方や大量に購入していただいた方もいて、「小麦の味が濃くて美味しかった。」「今まで食べたそつめんの中で一番美味しい。」「次はいつ販売するの?」と嬉しいお言葉をたくさんいただきました。

今回は夏限定の販売でしたが、私たちの夢は通年でそつめん販売を行うこと、販売の範囲を広げることです。そつめんの販売についてはまだまだ課題が多く、検討が必要なが山積みですが、これからも美味しいそつめんをみなさんに届けられるように頑張っていきたいと思えます。



生活支援員 照井 咲絵



### 旬をいただくついでに

～凝縮された恵の話～

栄養士 猪川 拓



長く暑い夏が終わり、肌寒さを感じ始めました。献立にも食材や料理に変化がみられます。食材には「旬」があります。ベストタイミングで浴びる太陽の光、浄化された山水、適切なpHの雨や、風向き、気温や土壌のミネラルなどによって、生き活きと自然に育つよう種にプログラムされています。野菜や果物だけでなく、潮の流れや寒暖差で旬を迎える魚介類も同じです。旬の食材は、自然や宇宙からのエネルギーがたっぷり含まれていると考えてよいと思います。(字面スピリチュアルですみません。)

食材の旬を食べることは、味や食感はもちろん、含まれる栄養素もピークなわけで、人体に優しく、効率の良い食事と言えます。実際に、冬が旬のほうれん草は、夏採りのものに比べ、ビタミンC含有量が3倍にもなります。また、人体が冬の寒さに抵抗することで不足しがちな栄養素として、ビタミンや鉄分があげられ、鉄の吸収にはビタミンCが関与するため、理にかなっているわけです。

食材に含まれる栄養素や効能を調べて食事してみると面白いですが、知にも身にもなりません。利用者の皆さんに、旬の食材の提供や、イベント食を通して、食事を楽しんでいただけたらと思います。



食材に含まれる栄養素や効能を調べて食事してみると面白いですが、知にも身にもなりません。利用者の皆さんに、旬の食材の提供や、イベント食を通して、食事を楽しんでいただけたらと思います。



### 中山の園職員研修

～より良いサービス提供を目指して～

副所長兼企画調整室長 瀧澤 浩二

中山の園グループでは、「入所施設」「共同生活事業所(グループホーム)」「通所事業所」「相談支援事業所」等の福祉サービスを提供しており、およそ300名程の方にご利用いただいています。

利用者の皆様は、10代から80代と年齢構成も幅広く、障がいの状況に応じて、色々な面でのアプローチや支援が必要です。

そのため、利用者の皆様、一人一人の状態やニーズを理解し、専門的かつ一人一人に寄り添ったサービスを提供できるよう、外部から講師を招いての研修会や中山の園グループの職員が講師となつての研修会を開催しています。

研修内容については、福祉サービス制度の理解、障がい特性の理解や支援方法、高齢化に伴う介護技術、感染症対策、虐待防止等、内容は多岐にわたります。

また、職員間の交流を深めるための座談会



や感情をコントロールするためのメンタルヘルス研修等を開催し、職員のモチベーションを高め、チームワークの向上に努めております。

利用者の皆様が笑顔で快適な生活を安全に送ることができるよう、「利用者目線」の支援を重視するとともに、地域やご家族の皆様の期待に応えるためにも、職員の人材育成を進めていきます。



### 事業のご紹介

中山の園グループでは、地域における公益的な取り組みとして、障害福祉サービス受給者証を所持していない方でも、宿泊しての体験利用ができます。

随時、施設見学も行っておりますので、ご興味のある方、利用を希望される方はお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先: 中山の園企画調整室 Tel.0195-35-2566

### 編集後記

園まつりをはじめとする、様々な活動で活気にあふれている中山の園グループです。園だよりから少しでも感じていただけたら嬉しいです。

引き続き、感染症に気を付けながら取り組みを行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

ご意見・ご要望等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

生活支援員

山内 玲奈